

**令和7年度**

**教育委員会事務事業点検・評価報告書**

**(令和6年度分)**

**寒河江市教育委員会**

## 目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	2
II	教育委員会の活動状況	3
1.	教育委員会会議の開催状況	3
2.	教育委員会協議会の開催状況	4
3.	教育委員会会議以外の活動状況	5
III	施策の体系	6
IV	外部評価委員の意見	8
1.	総 括	8
2.	施策ごとの意見	9
V	令和6年度教育委員会の点検・評価対象事務事業	
◇	評価調書総括表	16
◇	事業の評価（自己評価の基準等）	17
◇	点検・評価対象事業一覧	18
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	19

# I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

## 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正により、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の方から教育行政について理解を深めていただくため、平成21年度から、3名の外部評価委員の方々から意見をいただき、点検・評価を実施しております。

今年度は、令和6年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

## 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、令和6年度に実施した教育委員会所管事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な26事業を対象に実施しています。

## 3. 点検・評価の方法

各事業について、「事務事業点検・評価調書」を基に、「有効性」、「必要性」、「効率性」及び「公平性」の観点から客観的に分析し、その事業の全体の評価と、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」のいずれであるかの自己評価を行った。

なお、評価調書に示している「目標値」については、令和7年度を目標年度としている「第2次寒河江市教育振興計画【改定版】」に明示されてあるものについてはその数値を使用しており、その目標の数値設定が今回できなかった事業は、今後担当課内で検討していくものとする。

事業の評価については、実施年度の目標値に対する達成度や成果と受け手からの評価によるものなど、総合的に判断するものとし、次のとおり段階の区分をした。

A：予定以上の成果が認められ、事業対象者からの評価も高かった。

B：予定した成果が認められ、事業対象者から一定の評価があった。

C：予定した成果は認められるものの、事業対象者の評価はあまり良くなかった。

（又は予定した成果には及ばないが一定の評価があった。）

D：予定した成果はあまり認められず、事業対象者の評価も低かった。

#### 4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

##### 寒河江市教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
石 垣 和 恵	山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科 教授
高 林 雅 彦	有識者
細 矢 祐 子	有識者

## II 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会会議の開催状況

開催日	区分	議案番号	会 議 内 容
令和6年 4月19日	定例	14	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
5月21日	定例	15	寒河江市教育委員会事務代決及び専決に関する規程の一部改正について
6月24日	定例	16	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		17	寒河江市教育事務評価委員の委嘱について
		18	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		19	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		20	寒河江市図書館協議会委員の任命について
7月22日	定例	21	令和7年度使用教科用図書の採択について
		22	寒河江市スポーツ推進審議会委員の任命について
8月23日	定例	23	教育委員会の事務事業（令和5年度分）の点検・評価について
9月20日	定例	24	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
10月24日	定例	—	議案なし（教育長報告のみ）
11月20日	定例	25	令和6年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
12月19日	定例	26	寒河江市学校施設整備計画改定について
令和7年 1月22日	定例	—	議案なし（教育長報告のみ）
2月19日	定例	1	アールテック中学生チャレンジ応援基金条例の制定に対する意見の申出について
		2	寒河江市公民館に関する条例の改正に対する意見の申出について
		3	多田文庫図書購入基金条例等の廃止に対する意見の申出について

開催日	区分	議案番号	会議内容
令和7年 3月6日	臨時	4	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		5	教職員の令和6年度末人事異動内申について
		6	教職員の懲戒処分の内申について
3月24日	定例	7	令和7年度教育行政の一般方針について
		8	公民館長の任命について
		9	寒河江市教育相談室設置条例施行規則の一部改正について
		10	寒河江市公民館に関する条例施行規則の一部改正について
		11	寒河江市郷土館西村山郡役所の使用料の無料化に伴う関係規則の整理について
		12	寒河江市勤労青少年ホーム設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
		13	寒河江市立学校処理規程の一部改正について
		14	令和6年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について
3月31日	臨時	15	寒河江市学校施設整備計画改定について
		16	寒河江市立新中学校施設整備基本構想について

## 2. 教育委員会協議会の開催状況

◆開催回数 令和6年4月19日 ほかに11回

### ◆報告及び協議内容

- さがえ未来トークの実施について
- 寒河江市学校施設整備計画改定（案）、新中学校施設整備構想（案）について
- さがえさくらんぼマラソン大会等各種事業について
- 中学生チャレンジ応援事業について
- SAGAEまちなか芸術祭について
- 地区公民館各種事業について
- スポーツツーリズムロードマップについて 他

3. 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 学校訪問（令和6年度は小中6学校を訪問）

実施日	実施校
6月18日	寒河江市立醍醐小学校
7月5日	寒河江市立寒河江中部小学校
7月22日	寒河江市立寒河江小学校
9月26日	寒河江市立三泉中学校
10月8日	寒河江市立陵西中学校
10月17日	寒河江市立南部小学校

(2) 総合教育会議

実施日	内 容
令和6年 8月23日	(1) 不登校対策の現状と課題について

(3) その他調査・研修活動等

実施日	内 容
令和6年 7月4日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会

### III 施策の体系

#### 第2次寒河江市教育振興計画(改定)

《基本目標》 ふるさとを愛し、寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり  
～ 共に学ぶ 共に育む ～

#### 《基本方針》

#### 《主要施策》

#### 《具体的な施策》

##### 【基本方針1】

豊かな心と健やかな体を育む

1 思いやりの心を育み、命や生き方を大切にする教育の推進

多様な体験と規範意識の醸成

基本的な生活習慣の確立

学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進

2 健やかな体を育む取組みの推進

元気に遊ぶ子どもの育成

学校体育の充実

3 食育の推進

豊かな心と命を育む食育の推進

幼保小中や家庭、地域が連携した食育の推進

地産地消の推進

4 心を育む読書活動の推進

本が好きな子どもの育成

自主的な読書活動の支援

5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進

芸術文化に触れる機会の充実

芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造

##### 【基本方針2】

学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む

1 学びの充実と確かな学力の育成

学ぶ力を高める教育の推進

主体的な活動ができる力の育成

多様な学習環境づくり

2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進

特別支援教育の充実

教育相談機能の充実

3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進

情報活用能力の育成

ICTを活用した教育の推進

4 グローバル化に対応した教育の推進

外国語(英語)学習や国際理解教育の推進

5 発達に応じた学びを育む教育の推進

幼児教育の充実

幼保小中高の連携の推進

6 キャリア教育の推進

社会的・職業的自立に向けた教育の推進

##### 【基本方針3】

生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する

1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進

生涯を通じた学習機会の充実

共に学び合う体制づくり

2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進

誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進

競技力向上の推進

スポーツ環境の整備と充実

スポーツを通じた地域活性化の推進

**【基本方針4】**  
ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切に  
する心を養う

1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進

地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進

2 郷土の歴史と文化を大切に  
する活動の推進

ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護

民俗芸能や伝統行事の保護と伝承

史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用

**【基本方針5】**  
教育を取り巻く環境や社会  
の変化に応じた取組みを推進  
する

1 信頼される教育の推進

特色ある教育の創造

信頼される教育環境づくり

2 安全安心で充実した教育  
環境の整備

安全教育の充実

安全管理の徹底

3 地域の教育力の向上と  
地域コミュニティの活性化

地域の特色を生かした公民館活動の推進

活力ある地域をつくる地区公民館運営

生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化

4 開かれた教育行政の推進

信頼に応える教育行政の推進

教育情報の公開と共有化の推進

## IV 外部評価委員の意見

### 1 総括 ※令和6年度教育委員会事務事業全般について

#### ● (1) 全体について

評価対象となる令和6年度の26事業について概括すると、限られた財源の中でも教育環境を整えることに努め、教育委員会の本義を理解した事業執行を行っていることに敬意を表する。

#### (2) 評価のあり方および事務事業点検・評価調書（評価個票）について

目標値、実績値、達成度の表現が理解しにくいので、初見でも理解できるよう表記を工夫するかまたは説明をご検討いただきたい。

昨年度の評価委員から、評価個票に「事業目標」がないことが指摘されていた。「事業目標」を設定し、数値で表しにくい点を評価する仕組みがあるとよい。

事業対象者（学習者）の評価は、電子アンケートで調査担当者の負担を軽減して実施し、データの蓄積を行ってはいかがか。

#### ● 令和7年度は、新たな市振興計画、そして第3次市教育振興計画策定の年です。令和3年に作られた第2次寒河江市教育振興計画（改訂版）の目標達成に向け、実施されたこれまでの実績を踏まえて、長期的な本市の教育、文化、スポーツの計画について、ハードソフト両面から検討いただければと思います。

#### ● 昨年度、初めて教育事務評価委員の委嘱を受け、会議に参加させていただき、多くの事業に取り組んでいらっしゃることを知ることができました。さらに加えて、昨年度は市政施行70周年ということもあり、さまざまな記念行事も開催され大変な1年だったと思われませんが、総括表により、すべてがAとBの評価であったことは努力のたまものであると思えました。

改めて、地域住民のため、市の子供たちのために事業を展開されている教育委員会の皆さまのご苦勞に感謝申し上げます。

## 2 施策ごとの意見

### ○基本方針1 「豊かな心と健やかな体を育む」

#### 【学校保健事業】

- 生理用ナプキンを学校のトイレに配置する事業は学校へ予算配当し「非常用」として整備していることを確認した。学校への生理用品の配置は、経済的な理由で購入できないことはもとより、急遽必要になった場合も含め、全ての子どもたちが心身の健康を維持し、安心して学校生活を送ることができる環境整備の一環との認識が広まりつつある。「生理の貧困」対策を推進していただくことを期待する。
- 夏季の高温等異常気象により、学校管理下での子どもたちの事故が全国的に増加しているように感じます。未然に防ぐための方策はとられていると思いますが、周知徹底をお願いします。
- 各種検診により、病気の早期発見、早期治療につながっていること、異常が見つかった児童生徒の再検査も的確に行われているということをお聞きし、引き続き、児童生徒の健康維持と良好な学習環境づくりに努めていただくようお願いします。

#### 【学校給食事業】

- 小中学校給食費の完全無料化を実現していることに敬意を表する。物価高対応策として、一食当たり小学校で25円、中学校で30円の予算上乗せをしていることは具体的にお伝えいただいたほうが事業を広く理解していただけるのではないかと。
- 物価が急激に上昇し、食材の確保等が大変ではないかと思えます。これからも、子どもたちの健全な成長のため、予算の確保等に努めていただきたいと思います。
- 給食費の完全無料化は、保護者にとって大変ありがたいことで、物価高の昨今、なおさら助かっていると思えます。さらに、市外の小中学校に通う児童生徒にまで拡大することはすばらしい取り組みだと思えます。

#### 【芸術文化振興事業】

- 今後の対応として検討している「演劇教室」は、「演劇ワークショップ」の方が企画内容に沿った事業名である。対象年齢を絞らず、幅広い年代の市民を対象として開催することが望ましい。高校生などの若者世代だけの交流ではなく、大人と若者がともに楽しむ企画である方が、若者世代の地元への愛着が強まる可能性が高い。
- 参加者の属性（他の市町村からの参加など）や満足度の調査は、フォームによって手間が少なく集約することが可能であるので、ご検討いただきたい。
- 自主事業の入場割合が目標値の90%を超えていることは、イベントの周知がうまくいき、内容も充実しているため、多くの来場者があるのだと思えます。特にSAGAE MUSIC DAYは、県外からの若者の参加者が多く、本市の知名度アップに貢献している事業だと思えます。
- 70周年記念事業としての、「山響ハートフルコンサートinさがえ」は大変素晴らしく感動しました。また、「SAGAEまちなか芸術祭」も多くの人で賑わっていました。様々な年齢層に合わせた事業が展開されていることに感激しました。予算の関係もあるでしょうが、今後でもできる限りの事業を展開していただき、市民の芸術文化の振興と意識の高揚を図っていただきたい。また、新たな事業である、演劇教室にも期待したいと思っています。

### 【美術館運営事業】

- 順調に来場者増加を果たしていることに敬意を表する。
- 全国的に知られている本市出身の鬼海弘雄さんの企画展は、個人の業績を風化させないためにも定期的で開催していただければと思います。常設展については、さまざまな方向から検討をお願いします。
- 教育事務評価委員をさせていただいたことで、美術館での様々な事業を知り、足を運ぶことも多くなりました。美術館に行って買い物ができたり、買い物のついでに美術館に寄れたりできるようになれば、もっと多くの人を訪れるのではないかと思われるため、フローラSAGAの改修工事に期待したいと思います。また、美術館で行われている事業が、市報や新聞、ポスターなどいろいろな形でPRされるようになり、どのようなイベントが行われているのかわかりやすくなったと思います。

○基本方針2 「学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む」

### 【教育研究推進事業】

- 多方面から子どもの学力向上を目指して、一丸となって検討をされていることに敬意を表したいと思います。
- 児童生徒の学力の現状把握と分析、それに応じた学力向上の対策のために、学力向上対策委員会や公開授業研究会が開催されていること、引き続きお願いします。また、学級集団づくりは、学力にも大きく関わってくると思われるため、小学校での実施もよろしく願いたいと思います。

### 【学力向上推進事業】

- 事業の実施状況に各種支援員（会計年度任用職員）の配置基準を記載していただきたい。
- 2事業の概要の事業内容には2項目をあげているので、4事業の実施状況と5事業の効果及び評価も大きく2項目に分けて小項目を立てる方が、取り組みとその成果を読み取りやすいので、書き方を工夫していただきたい。
- 将来の社会がなかなか見通しづらい現状のなか、子どもたちには、それに対応するための基本的な学力の向上は必須だと思います。多くの支援員等を配置してもらっており、みんなが本市の将来を担う人に成長してもらいたいと思います。
- 個に応じたきめ細やかな指導の充実のために、様々な支援員が配置されていて素晴らしいと思います。今後も、さらに支援員が増員されるよう、予算の確保に努めていただきたいと思います。

### 【教育支援推進事業】

- 教育支援センター「寒陵スクール」の開所時間を令和7年度は午後3時まで延長する拡充策をとられたことは良かった。多様な学びの環境を整備する方針に敬意を表する。昨年度安藤委員が提案していたオンライン学習の導入可能性もご検討いただきたい。
- 不登校の子どもが増加していることが心配です。寒陵スクールの在籍生徒が高校に進学したことは、関係者の連携によるものだと思います。時間延長や指導員の増員に期待したいと思います。
- 不登校児童生徒に対しての支援の充実のために、別室担当の教育相談員の配置や寒陵スクールの開所時間の延長など、令和6年度の事業をふまえて、前向きに進んでいると思われる

す。今後も、不登校児童生徒の対応と学びの場の保障の充実をお願いします。

#### 【障害児通学支援事業】

- 「保護者による送迎が困難」という条件付きの通学支援を、計上した予算内で条件をつけずに支援することはできないか、試算をお願いしたい。児童生徒が就学可能になることで、保護者の継続就労が可能になる事例がないか個別相談があればなおよいのではないか。
- 当初予算額と決算額が大きく異なるのは、障がい児の家庭が事業を利用しやすいかどうかと思われるので、予算要求内容も含めて検討願います。
- 仕事を持っている保護者にとっては、大変ありがたい事業だと思います。今後、条件なしでの支援になれば、さらに安心した登下校となり、保護者の負担も減ると思われれます。引き続き予算の要求をお願いします。

#### 【小中学校 ICT活用支援事業】

- GIGAスクールタブレット支援員の必要性が理解されやすいように、配置人数と支援の実績を数値で示していただきたい。双方向型授業及びミライシードASP版の活用についても実績、今後の対応のWi-Fi更新工具体策も示してあると理解しやすい。
- ICT関連機器やソフトが年々高度化、多様化するなかで、より効率的効果的に活用するため、専門的知識をもった業者等への委託は今後も必要だと思います。
- 令和7年度の事業を通して、更にICT機器の活用が進められ、児童生徒の学力の向上につながることを期待したいと思います。

#### 【ICT整備推進事業（小中学校）】

- 令和7年度は一体型電子黒板に切り替えて普通教室以外での利用もしやすくなるかと理解しました。全ての教科学習で効果的な活用がなされることを期待する。
- ICT機器が計画的に導入されており、情報教育が円滑に行われていると思います。新聞や雑誌等、昔ながらの情報媒体も大切にしていってほしいと思います。
- ICT機器の積極的かつ効果的な活用がなされ、情報化社会に対応できる児童生徒の育成に努めてほしい。

#### 【コミュニティ・スクール推進事業】

- 今後の対応としては「さらに推進していく」ということですから、予算を拡充し、各事業で雇用する人員、特に部活動指導員の増員をご検討いただきたい。
- 少子高齢化により、地域の子どもたちが減少し、昔から続く地域の行事等に支障がでてきているところもあります。地域の高齢者と子どもたちを交えた世代間の交流事業等をさらに推し進め、郷土への愛情と誇りを育てていただきたい。また、各地区に社会福祉協議会があるので、高齢者の活動などについて、連携してもらいたい。
- 多くの地域の方々や企業が様々な形で学校教育に協力、支援してくださっており、学校、家庭、地域が連携協働していることがよくわかります。今後も継続をお願いします。

○基本方針3 「生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する」

#### 【寒河江さくらんぼ大学推進事業】

- インターネット申込を開始したこと、素晴らしい取り組みである。各キャンパスの運営委

員との協働で企画運営をされていることも素晴らしい。

- 10回目の開催となっても、各学部とも特色ある工夫されたメニューが準備されていて、担当者の熱意が感じられます。
- 令和6年度の評価の意見を受け、申し込み方法や開催日時など、若い年代や働く人も受講しやすいよう工夫して下さったことがよくわかりました。今後ともよりよい事業となるよう期待します。

#### 【生涯スポーツ振興事業】

- 生涯スポーツ推進事業が活発に行われている。この市民の競技スポーツの活性化、指導者等の育成が、中学校の部活動指導員拡充にもつながると思われるので期待したい。
- 生涯スポーツも時代とともに多様化し、自分の体力や好みにあった種目が選べるようになったと思います。しかし、実際活動している割合としては、まだまだ少ないのではないのでしょうか。今後とも、そのきっかけとなる事業の充実をお願いします。
- どの事業も年々参加人数が増えており、事業の目的が達成されてきていると思われれます。今後、中学校の部活動が地域に移行していくこともふまえて、少年団やクラブの指導者の育成のための事業等も関係団体と連携しながら整備して行ってほしいと思います。

#### 【体育施設整備事業】

- 個別施設計画によると、市民プールの建替は、まだまだ先のようなのですが、県大会等の開催に必要な公認プールの要件を、最低限確保していただきたい。
- 市民プールの老朽化に対しては、各関係団体と連携し、できるだけ早い対応をしていただき、市民が安全に快適に楽しく使用できる施設になりますようお願いいたします。

#### 【地域スポーツ活性化推進事業】

- 歴史あるさくらんぼマラソンの参加者が過去最高となるのは、コースを市街地に設けたり、開催時期を変更したり、参加者のことを様々考慮した結果だと思えます。参加者からの意見等を受けながら、毎年、寒河江に来たいというファンを着実に増やしていただきたいと思います。
- スポーツツーリズム事業は大変な盛況で県外からの参加者も多く、交流拡大と地域活性化が大いに図られたと思えます。また、駐車場の課題等も改善なされていること、同時期に他市町村でも類似のマラソン大会が行われている中、早くからのPRや魅力的な参加賞など、参加人数が増えている要因になっていると思われれます。今後、県外からの参加者が観光も楽しめるよう、他団体と連携して観光施設や公園の整備も併せてお願いし、スポーツでますます寒河江が活気づくことを期待しています。

○基本方針4 「ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切に作る心を養う」

#### 【市史編纂事業】

- 第93集まで編纂されていることに敬意を表する。寒河江さくらんぼ大学推進事業で、寒河江市史を読む会を企画してはどうだろうか。また、「ふるさと寒河江の歴史」を小中学生の歴史学習の副読本として貸与する発展的な事業があっても良いのではないか。
- 本市の歴史を後世に繋いでいくには、なくてはならない事業だと思えます。市史編纂叢書の発刊や地域の歴史資料の収集等地道な活動ですが、とても大切なことだと思えます。学校

再編と合わせて、収集物等の展示、発表、研究の場が設けられればと思います。

- 市報に「市史編さんだより」が掲載されていることにより、市民のみなさんが市史に触れることができていることは、市史に興味を持つきっかけにもつながっていくと思うため、今後も続けていってほしいと思います。

#### 【文化財保護庶務事業】

- 補助金が活用されて「しばはし歴史かるた」が作成されたことは素晴らしい取り組みである。
- まだ市内には、掘り起こすべき文化財があるのではないのでしょうか。歴史文化推進員と連携しながら、文化財の発掘と保全に努めてもらいたいと思います。
- 「しばはし歴史かるた」作成事業は子どもたちを巻き込んでのすばらしい事業だと思います。今後もこのような事業が展開されることを期待します。

#### 【史跡慈恩寺旧境内整備事業】

- 慈恩寺テラスができて、周年を通しての誘客が図られ、本山、地元、行政の連携がうまくいっていると思います。史跡の保存・活用について、周辺の整備も含め、更に前に進めてもらいたいと思います。
- 慈恩寺や慈恩寺テラスが様々なTV番組等で紹介され、県内外からの観光客も増え、史跡の理解と地域の活性化にもつながっていると思われます。今後も、様々な手法でのPRをお願いしたいと思います。

#### 【郷土館保存事業】

- 小・中学校の郷土学習に貢献できるように資料収集、保管を行っていることは保存事業の必要性を広く理解していただくために重要と思うので、力を入れていただきたい。
- 40周年フェスティバルに1,000人の入館者があったことは、素晴らしいことだと思います。交通の便の良さ、後ろのさくらの丘からの眺望、本市の歴史の勉強など郷土館のメリットを活かした企画PRを期待します。
- 郷土館特別展や40周年事業等のイベントの企画やパンフレットによるPRが、行ってみたいと思わせるような内容であったと思います。今後も、市内小中学生の郷土学習のみならず、一般市民、市外の人たちにも訪れてもらえるよう、特に桜の時期に合わせたイベント等も企画していただきたいと思います。

○基本方針5 「教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する」

#### 【学校職員衛生管理事業】

- 法令に基づいた学校職員の身体的衛生管理や精神的衛生管理について、きめ細かな配慮を引き続きよろしくをお願いします。
- 教職員の働き方改革が推進されてはいるものの、まだまだ、多忙化は改善されていないと思われます。今後とも、学校職員衛生委員会を中心として、教職員の心身の健康の把握と健康維持に努めていただきたい。

#### 【教育振興事業（小中学校）】

- 今後の対応に述べられている「デジタル採点システム導入」により、教職員の負担軽減を

図っていくことは是非、進めていただきたい。合わせてICT活用支援事業のGIGAスクールタブレット支援員による教職員への支援事業の充実を図っていただきたい。

- これからも、学習活動に必要な教材教具等の計画的整備を図っていただきたい。
- 先生方の負担軽減のための整備を、現場の先生方の意見を聞き、話し合いの上、進めていただきたい。

#### 【学校管理事業（小中学校）】

- 柴橋小学校ランチルーム耐震改修工事が行われたことが報告され、他の耐震改修が課題として挙げられていないので、これで耐震改修が全て終了したのであれば大変良かった。
- 小中学校の施設整備については、LED化、空調設備の導入、トイレの洋式化等着実に進められていて、教育環境は充実していると思います。学校再編が進められるなか、既存施設の維持管理に対する予算の確保を頑張ってください。
- 今後の学校統廃合を見据えながら、子どもたちの安全安心を第一優先とした施設設備の維持管理をお願いします。

#### 【公民館活動事業】

- 公民館活動は、地域により差が大きくなってきていると思います。子どもから高齢者まで、地域の住民がこぞって行事に参加することが、段々難しくなっていると思います。地区公民館のコミセン化など先進的な取組を広く知ってもらうことが大切だと思います。
- コロナ禍で縮小、廃止されていた様々な行事が、形を変えながら新たに企画・運営されてきていると思います。今後とも地区公民館と分館、各種団体が連携し、地域住民が元気になる事業の展開がなされ、地域のコミュニティの活性化につながることを期待します。

#### 【公民館整備事業】

- 今後の対応に述べられている耐震基準に満たない分館5館の耐震改修補助の在り方を、既に耐震改修を済ませた分館との公平性を保ちながらも方策がないか検討していただきたい。
- 地区公民館分館は、地域の集いの場であるとともに、災害時等の緊急避難場所として使用されることが見込まれる施設であることから、空調施設の導入や耐震化などを積極的に推進していただきたいと思います。
- 今後も公民館が地域の拠点となり、活発な活動行われるよう、引き続きの整備をお願いします。

#### 【放課後子ども教室推進事業】

- コーディネーターや協働活動支援員は、長年にわたり、協力いただいている方も多いと思います。地域の教育力向上のためにも、後継者の育成をお願いします。
- 異年齢や地域の大人との交流、自然体験、ニュースポーツ、ものづくりなどのさまざまな体験を通して、学校生活では学ぶことのできない社会性を学ぶことができる大変意味のある事業だと思います。今後とも、ぜひ継続した取り組みをお願いします。

#### 【教育委員会事務局管理事業】

- 部活動改革を円滑に進めるための施策は、ぜひ推進していただきたい。地域クラブ指導者等を対象とした指導者研修会は直接的な支援であるが、他に一般市民のスポーツや文化的活動を活性化することが将来的な部活動指導者育成につながるなので、関係部署と連携を図って

いただきたい。

- 本市の教育行政や施策について、市長と教育委員会が協議し、理解を深める総合教育会議の早期開催を望みます。
- 新規事業である「中学生チャレンジ応援事業」は中学生が企画立案した素晴らしい事業になったと思われます。今後も中学生の企画立案で中学生の成長につながる事業になることを期待します。また、中学校部活動の地域移行に向けて、各関係団体と連携しながら、子どもたちのことを第一に考えた地域での受け皿ができるよう、自分がやりたいと思う活動がのびのびとできるよう、検討がなされていくことを期待します。

## V 令和6年度

### 教育委員会の点検・評価対象事務事業

## 評価調書総括表

### 1 評 価

担 当		担 当 事業数	評 価				
課 (室)	係 等		A	B	C	D	計
学校教育課	教育総務係	3	(33.3%) 1	(66.7%) 2			(100.0%) 3
学校教育課	学事係	6	(16.7%) 1	(83.3%) 5			(100.0%) 6
学校教育課 指導推進室	指導係	4	(25.0%) 1	(75.0%) 3			(100.0%) 4
生涯学習課	生涯学習係	2		(100.0%) 2			(100.0%) 2
生涯学習課	歴史文化・慈恩寺振興係	4		(100.0%) 4			(100.0%) 4
生涯学習課	文化センター事業管理係	2	(50.0%) 1	(50.0%) 1			(100.0%) 2
生涯学習課	中央公民館	2		(100.0%) 2			(100.0%) 2
スポーツ振興課	スポーツ振興係	3		(100.0%) 3			(100.0%) 3
計		26	(16.7%) 4	(83.3%) 22			(100.0%) 26

※表中、( ) 書きは、達成度各区分の比率を示す。

### 2 方 向 性

担 当		担 当 事業数	方 向 性					
課 (室)	係 等		拡充	継続	縮小	見直し	休廃止	計
学校教育課	教育総務係	3		(100.0%) 3				(100.0%) 3
学校教育課	学事係	6	(16.7%) 1	(83.3%) 5				(100.0%) 6
学校教育課 指導推進室	指導係	4	(25.0%) 1	(75.0%) 3				(100.0%) 4
生涯学習課	生涯学習係	2		(100.0%) 2				(100.0%) 2
生涯学習課	歴史文化・慈恩寺振興係	4		(100.0%) 4				(100.0%) 4
生涯学習課	文化センター事業管理係	2		(100.0%) 2				(100.0%) 2
生涯学習課	中央公民館	2		(100.0%) 2				(100.0%) 2
スポーツ振興課	スポーツ振興係	3		(100.0%) 3				(100.0%) 3
計		26	(7.7%) 2	(92.3%) 24	0	0	0	(100.0%) 26

※表中、( ) 書きは、方向性各区分の比率を示す。

## ◆ 事業の評価(自己評価の基準等)

視 点		区 分		基 準 等
① 有効性	期待された成果(アウトカム)は得られたか(目標に対して事業が有効か)	a	期待を上回る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標とすべき姿と事業の成果を比較し、当初の目的が達成されているか。</li> <li>・目標値に対する達成率により以下の基準で判断する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>a : 達成率100%以上</li> <li>b : 達成率80%以上、100%未満</li> <li>c : 達成率70%以上、80%未満</li> <li>d : 達成率60%以上、70%未満</li> <li>e : 60%未満又は今後向上の見込みなし</li> </ul> </li> <li>・目標値が設定されていない場合には、事業の状況等を勘案したうえで、上記に準じて判定する。</li> </ul>
		b	期待どおり	
		c	概ね期待どおり	
		d	期待を下回る	
		e	効果が少ないか又は向上の見込みなし	
② 必要性	事業ニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化)	a	増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の事業を取り巻く状況(法制度の改正、社会的ニーズの変化、経済情勢の変化等)から見て、事業実施後のニーズに変化があるか。また、担当課等でアンケートなどで調査している場合、調査結果(満足度、重要度など)を事務事業点検・評価調書の「5」に記載すること。</li> </ul>
		b	横ばい	
		c	減少	
		d	かなり減少	
	市(行政)の関与は必要か(市が関与する範囲は適切か)	a	【市(行政)の関与は】必要あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が関与する範囲は適切か、見直す余地がないか。</li> <li>・市が関与を縮小し、関係機関、関係団体、民間等に移行することは可能か。</li> <li>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。</li> </ul>
		b	当面は必要	
		c	必要性は低い	
③ 効率性	効率性を高める余地はないか(効率的に実施できたか)	a	余地なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投入資源(予算・人員)を縮小することは可能か。</li> <li>・効率的な執行を工夫できる余地はないか。</li> <li>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。</li> </ul>
		b	当面は余地なし	
		c	余地あり	
④ 公平性	公平性を見直す余地はないか(事業の効果は公平に配分されたか)	a	余地なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果が一部に限定されることなく、全ての対象者・受益者が事業の恩恵を受けられるか。</li> <li>・受益者負担を求めている状況は適切であるか。</li> <li>・改善(質・量的改善等)をすることがあれば、事務事業点検・評価調書の「今後の対応」に記載すること。</li> </ul>
		b	当面は余地なし	
		c	余地あり	
⑤ 総合評価(自己評価)		A	予定以上の成果が認められ、事業対象者からの評価も高かった。	
		B	予定した成果が認められ、事業対象者から一定の評価があった。	
		C	予定していた成果は認められるものの、事業対象者の評価はあまり良くなかった。	
		D	予定していた成果はあまり認められず、事業対象者の評価も低かった。	
⑥ 事業の方向性	拡充、継続、縮小、見直し、休廃止			

V 点検・評価対象事業一覧

市教育振興計画における 基本方針	事業名	担当課	主要施策	ページ
【基本方針1】  豊かな心と健やかな体を育む	学校保健事業	学校教育課	1-2	19
	学校給食事業	学校教育課	1-3	20
	芸術文化振興事業	生涯学習課	1-5	21
	美術館運営事業	生涯学習課	1-5	22
【基本方針2】  学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む	教育研究推進事業	学校教育課	2-1	23
	学力向上推進事業	学校教育課	2-1, 2	24
	教育支援推進事業	学校教育課	2-2	26
	障害児通学支援事業	学校教育課	2-2	28
	小中学校ICT活用支援事業	学校教育課	2-3	29
	ICT整備推進事業(小中学校)	学校教育課	2-3	30
	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課	1-1, 2, 3, 4 2-6 4-1, 2	31
【基本方針3】  生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する	寒河江さくらぼ大学推進事業	生涯学習課	3-1	33
	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	3-2	34
	体育施設整備事業	スポーツ振興課	3-2	36
	地域スポーツ活性化推進事業	スポーツ振興課	3-2	37
【基本方針4】  ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切に する心を養う	市史編纂事業	生涯学習課	4-2	39
	文化財保護庶務事業	生涯学習課	4-2	40
	史跡慈恩寺旧境内整備事業	生涯学習課	4-2	41
	郷土館保存事業	生涯学習課	4-2	42
【基本方針5】  教育を取り巻く環境や社会 の変化に応じた取組みを推 進する	学校職員衛生管理事業	学校教育課	5-1	43
	教育振興事業(小中学校)	学校教育課	5-1	44
	学校管理事業(小中学校)	学校教育課	5-2	45
	公民館活動事業	生涯学習課	5-3	46
	公民館整備事業	生涯学習課	5-3	47
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	5-3	48
	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	5-4	49

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	学校保健事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 2 健やかな体を育む取組みの推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費 2,3 小学校費、中学校費 2 学校保健費
実施年度	R7目標値: % R6実績値: % R6達成度: %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童生徒の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

R5	当初予算額	17,278	補正額等	0	合計	17,278	決算額	15,512
R6	当初予算額	17,333	補正額等	0	合計	17,333	決算額	15,684

(単位:千円 千円未満切上げ)

### (中学校費)

R5	当初予算額	7,758	補正額等	0	合計	7,758	決算額	6,742
R6	当初予算額	8,029	補正額等	0	合計	8,029	決算額	7,533

## 4. 事業の実施状況

(1) 児童・生徒検診 ①身体計測・内科・眼科・歯科各検診 ②耳鼻科検診 ③心電図検査 ④尿検査 ⑤貧血検査 (2) 環境衛生検査(飲料水、照度、ダニアレルゲン、プール水質検査)
---

## 5. 事業の成果及び評価

児童生徒の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。
--

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		
今後の対応	児童生徒の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し、良好な学習環境の整備に繋げる。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校給食事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 3 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進	予算科目	10: 教育費 2,3: 小学校費、中学校費 2: 学校保健費
実施年度	R7目標値: % R6実績値: % R6達成度: %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	学校給食を実施することにより、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。
事業内容	小学校では自校調理方式、中学校では民設民営による給食センター方式により完全給食を実施する。

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	234,749	補正額等	0	合計	234,749	決算額	213,487
R6	当初予算額	249,583	補正額等	0	合計	249,583	決算額	238,028

### (中学校費)

R5	当初予算額	187,141	補正額等	0	合計	187,141	決算額	179,708
R6	当初予算額	191,511	補正額等	1,676	合計	193,187	決算額	187,359

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 小中学校給食費の完全無料化</p> <p>(2) 給食調理業務の民間委託(西根小、柴橋小、高松小、寒河江中部小、南部小、寒河江小、中学校3校にて実施)</p> <p>(3) 「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(4) 給食だより等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布したりして、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(5) 各種会議・研修会の開催</p>
---

## 5. 事業の成果及び評価

令和3年度より学校給食費の完全無料化を実施し、保護者の経済的負担軽減を図った。
---

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		
今後の対応	令和7年度より市外の小中学校等に通学する児童生徒の保護者を対象に補助金を交付する。(R7予算 4,954,250円) 物価高騰対応策として、一食当たり小学校で25円増(335円)、中学校で30円増(410円)					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	<b>【基本方針1】</b> 豊かな心と健やかな体を育む 5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進 芸術文化に触れる機会の充実 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 3 芸術文化振興費
実施年度	R7目標値: 90% R6実績値: 93.9% R6達成度: 104%		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取組みの推進
事業内容	多くの市民が優れた芸術文化に触れるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	3,719	補正額等	0	合計	3,719	決算額	3,155
R6	当初予算額	16,673	補正額等	0	合計	16,673	決算額	16,207

### 4. 事業の実施状況

(1)市民文化会館自主事業 ①山響ハートフルコンサートinさがえ/7月26日/来場466人 ②幼児演劇教室「オズの魔法使い」/10月1日/593人(チケット販売517枚) ③「SAGAE MUSIC DAY」/11月23日/来場735人 (2)実行委員会、市民文化団体への支援 ①「SAGAEまちなか芸術祭」/9月27日～11月4日/9月27日「ふるさとクリエイト SAGAEまちなか芸術祭」来場者12,000人 ②県美展寒河江移動展/10月9日～14日/来場者610名 ③寒河江市総合文化祭/11月29日～11月4日(合同発表会は11月3日)/総来場者数500名 ④寒河江市音楽祭/3月2日/入場券販売枚数614名 (3)山形交響楽団に対する支援(県内他自治体とともに山形交響楽協会へ負担金を交付して活動を支援) (4)舞台づくり支援事業(舞台発表のレベル向上及び独創的かつ継続的な公演活動を支援) ①演奏力等向上支援事業 8回(申請数5件) ②発表会活動支援事業 12回(申請数4件)
--

### 5. 事業の成果及び評価

市制施行70周年記念事業として「山響クラシックコンサートinさがえ」及び「SAGAE MUSIC DAY」等の自主事業のほか、「SAGAEまちなか芸術祭」を実施し、芸術文化を核とした記念事業にふさわしい内容の事業を実施することができた。また各種団体との共催事業の実施や各種制度による支援により、育成を図ることができた。
---

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
a	a	b	b	b		
今後の対応	自主事業について、引き続き各年代層が芸術文化に触れる機会を創出するため、「幼児演劇教室」「若者活性化ライブ」、新たに「演劇教室」等を実施する。また、今後も各種団体の支援を通して、本市の芸術文化の振興と意識の高揚を図っていく。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組みの推進 芸術文化に触れる機会の充実 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造		4 社会教育費
実施年度	R7目標値: 8,500 人 R6実績値: 10,324 人 R6達成度: 121 %	目	3 芸術文化振興費

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、市美術館をとおして中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	多くの市民が優れた芸術文化に触れるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	7,735	補正額等	0	合計	7,735	決算額	7,405
R6	当初予算額	8,960	補正額等	160	合計	9,120	決算額	8,912

### 4. 事業の実施状況

(1)特別企画展	アートツリーやまがたvol.13/2月9日～2月22日開催(14日間)/来場者751名
(2)美術館企画展	①藤原泰祐個展「冀わくは清鑑をこそ」/7月26日～7月28日開催(21日間)/来場者1,700名 ②鬼海弘雄回顧展～時を超える繋がり～/9月27日～11月4日開催(37日間)/来場者1,805名 ③うさぎ帝国展/11月6日～12月1日開催(15日間)/来場者1,216名 ④坂本絢佳×森本諒子「呼吸のかたちと流れるエモーション」/3月3日～3月29日開催(26日間)/来場者752名
(3)教育委員会主催	①埋蔵文化財フェア/8月29日～9月8日開催(11日間)/来場者470名 ②各地区公民館写真展&慈恩寺絵画コンクール/12月18日～1月7日開催(19日間)/来場者338名

### 5. 事業の成果及び評価

<p>寒河江市美術館の運営については、年間を通して活発で効果的な展示により、今年度も来場者が一万人を越えることができた(R4年度10,773人、R5年度11,279人、R6年度10,324人)。</p> <p>市制施行70周年記念の「SAGAEまちなか芸術祭」の一環として実施した、当美術館では通算5回目となる鬼海弘雄写真展は、回顧展として未公開写真を含めて展示したこともあり、来場者も多く相変わらず根強い人気を誇った。</p> <p>若手作家をクローズアップした「藤原泰祐個展」「うさぎ帝国展」においても、多数の来場者を得て好評を博した。</p> <p>県内でも開催例の少ない「アートツリーやまがた」においても、福祉施設等との交流を図りながら、本市中心市街地の活性化に貢献することができた。</p>
--

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>A</b>	<b>継続</b>
<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	令和7年度は、令和6年度に実施した「まちなか芸術祭」の流れを生かした「岡本太郎『生誕』展」と「まちなかアートギャラリー原画展」を実施するほか、目玉となる「書道家 未来(みく)展」を中心に、数々の若手作家展を紹介し、特色ある美術館として展示活動に取り組んでいく。フローラ・SAGAEの改修も行われることとなり、四季折々の展示を提供している常設展についても、今後のあり方を検討していく。					

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業			
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 主体的な活動ができる力の育成			
実施年度	R7目標値: 53.5	R6実績値: 50.5	R6達成度: 94.4 %	※1
実施年度	R7目標値: 52.5	R6実績値: 49.5	R6達成度: 94.3 %	※2
実施年度	R7目標値: 小 3教科(国・算・理)実施のうち3教科 中 3教科(国・数・理)実施のうち3教科	R6実績値: 小 2教科(国・算)実施のうち0教科 中 2教科(国・数)実施のうち0教科		※3
実施年度	R7目標値: 50%	R6実績値: 67.9 %	R6達成度: 135.8 %	※4

所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
-------	--------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	4	教育研究費

※1 標準学力検査(NRT)小学生平均偏差値  
 ※2 標準学力検査(NRT)中学生平均偏差値  
 ※3 全国学調で全国を上回った教科の数  
 ※4 英検3級以上を取得した中3の割合  
 ※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

## 2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質向上とともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	(1)教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。 (2)学力検査や知能検査、学級集団状態調査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	6,447	補正額等	0	合計	6,447	決算額	6,070
R6	当初予算額	6,446	補正額等	0	合計	6,446	決算額	6,063

## 4. 事業の実施状況

(1) 学力検査・知能検査・学級集団実態調査 ①小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:小6以上) ②小2、4、6、中1における知能検査の実施 ③中1～中3における学級集団実態調査の実施(年1回) ④小5、中2における市学力調査(総合学力調査)の実施(国語、算数・数学) (2) 教育研究所 ①研修部 19部会(陵東学区6部会、陵南学区7部会、陵西学区3部会、養護教諭部会、学校事務部会、学校栄養職員部会)各2回 ②学力向上対策委員会 ○学力対策委員会の開催(6月・9月・12月・2月) ○市内各小・中学校の学力向上に向けたアクションプランの作成と情報共有 ○「自立した学習者の育成」を目指したICTを活用した新しい学び方について研修 ③公開研究会 ○中学校区ごと1校ずつ公開を行った。(柴橋小、白岩小、陵東中)
--

## 5. 事業の効果及び評価

各種学力検査委の結果 (1)数研式NRT 小学校全体偏差値 50.5(R5:50.9) 中学校全体偏差値 49.5(R5:50.2) (2)市学力調査業者テスト 小5平均偏差値 国語 48.8 算数 47.9 中2平均偏差値 国語 49.9 数学 49.4
---

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	a	b	b		

今後の対応	(1)各校の学力向上に関する主体的な研修を支援するとともに、公開研究会及び各学校の校内授業研究会において、適切な指導・助言を行う。 (2)各種学力調査の結果を分析し、授業づくり、指導改善につなげることができるように、市学力対策委員会を中心に改善策を検討し、市内各校において共通理解を図りながら取組を推進していく。 (3)よりきめ細やかな学級集団実態調査(ハイパーQU)の実施により、学校生活における児童生徒の満足度や意欲、悩みなど児童生徒一人ひとりの心の状態を把握し、より良い学校生活と友達づくりを支援していく。
-------	--

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学力向上推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
実施年度	R7目標値:           %   R6実績値:           %   R6達成度:           %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合 その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	・学力の基礎となる「読解力」、グローバル社会に対応する「英語力」を育成する。 ・個に応じたきめ細かな学習支援を行い、児童生徒に確かな学力を身につけられるように、学校の状況に応じて支援員を配置し活用する。
事業内容	・児童生徒の「読解力」と「英語力」を育成するために、リーディングスキルテストやまるぐランド(読み書きの認知特性に配慮したICT学習教材)、GTEC(スコア型英語4技能テスト)を実施し、検査結果をもとに、指導改善を図る。 ・児童生徒の学力・生活力向上を図るため、学力向上支援員、特別教育支援員、教育活動支援員、外国語指導助手、外国語指導支援員、日本語指導支援員を配置、派遣する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	99,392	補正額等	35	合計	99,427	決算額	95,318
R6	当初予算額	108,629	補正額等	6,381	合計	115,010	決算額	104,418

## 4. 事業の実施状況

(1)読解力育成	<p>①リーディングスキルテスト 4月、中学1・2年生及び一部の教員を対象にテストを実施。 課題研究部会にて、結果分析を踏まえた授業改善を行い、児童生徒の読解力の向上を図った。</p> <p>②まるぐランド 小学校2～4年生(一部5年以上特支学級)に対して導入し、児童の認知特性に応じた問題に取り組みさせることで、基礎的な読み書きスキルの向上を図った。5月と10月にチェックテスト実施。5～3月教材利用。</p>
(2)英語力育成	<p>①GTEC 中学生の英語力を把握するために、中学校第2学年におけるGTEC(英語4技能試験)を10月に実施した。 事前事後の研修会のため、英語教育推進会議(5・1月)を開催した。</p> <p>②イングリッシュ・デイ 1日英語だけで過ごす「English Day」事業……8月6・7日、旧幸生小を会場に実施。</p>
(3)学力向上支援員	<p>①配置人数 6校 8名 (R5 11名) 1学級の児童生徒数が32・33名の場合に配置。(小学校は2学級に1名、3～4学級に2名。中学校は1学年に1名。) 寒河江小(2名)、寒河江中部小(2名)、南部小(1名)、柴橋小(1名)、三泉小(1名)、陵南中(1名)</p> <p>②業務内容 担任による学習指導の補助。学習内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成のための個に応じたきめ細やかな学習支援。担任と協働した学習指導や探究的な学習活動の効果的な推進</p> <p>③勤務体制 年間215日程度(授業日)、学校の実情等に応じて6時間の勤務</p>
(4)特別教育支援員	<p>①配置人数 9校 16名 (R5 16名) 特別支援学級の児童生徒数が4～6名の場合に配置。 寒河江小(2名)、寒河江中部小(2名)、南部小(3名)、西根小(1名)、柴橋小(2名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(2名)</p> <p>②業務内容 通常学級や特別支援学級における個別の支援が必要な児童生徒への学習及び生活上の支援</p> <p>③勤務体制 年間215日程度(授業日)、学校の実情等に応じて6時間の勤務</p>
(5)教育活動支援員	<p>①配置人数 12校(兼務あり) 12名 (R5 13名) 寒河江小(1名)、寒河江中部小(2名)、南部小(1名)、西根小(1名、三泉小兼務)、柴橋小(1名)、高松小(1名)、醍醐小(1名、白岩小兼務)、陵東中(1名)、陵南中(1名)、陵西中(2名)</p> <p>②業務内容 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援 その他児童生徒の読書活動推進のための業務(読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトル、読書推進講座) 事務補助(中学校は、給食配膳業務を兼ねる)</p> <p>③勤務体制 1日6時間、年間243日程度の勤務</p>
(6)外国語指導助手(ALT)・外国語指導支援員(AET)	<p>①派遣人数 ALT……5名(R5 5名) AET……2名(R5 2名)</p> <p>②派遣体制 ALT……中学校に常駐(陵東中1名、陵南中2名、陵西中1名、学校教育課1名)、小学校にも派遣 AET……小学校に派遣</p> <p>③業務内容 小中学校の外国語の授業の支援、英語教育推進会議のサポート、イングリッシュ・デイの企画運営</p>
(7)日本語指導支援員	<p>①配置人数 1校(陵東中) 1名</p> <p>②業務内容 外国からの編入生への日本語指導及び学習・生活上での支援</p> <p>③勤務体制 1日6時間、年間215日程度(授業日)</p>

## 5. 事業の効果及び評価

### (1)リーディングスキルテストの結果(中1・中2)

RSTを中学2年生までに拡充したことで、昨年度のデータと比較することが可能になった。昨年度の課題を受け、各校において意識的に授業改善に取り組んできたことにより成果が見られた。文章の基本構造を把握する力(係り受け解析)、代名詞などが指す内容を認識する力(照応解決)については引き続き課題であり、すべての教科において教科書の文章を活用し、児童生徒が情報を正確に読解していくための実践を行っていく。

### (2)まるぐランドの結果(小2～4年)

教材の使用前と使用後のチェックテストの比較

A評価:50%⇒62% B評価:38%⇒30% C評価:7%⇒5% D評価:5%⇒3%

総合成績B・C・Dの児童が減少し、上位層の成績Aが大きく増加する結果となり、成果が見られた。

### (3)GTECの結果(中2)

①TOTAL 367.3(A1.2) (R5 363.1 A1.2 R4 377.3 A1.2 R3 376.5 A1.2 R2 366.7 A1.1)

②READING 78.8(A1.1) (R5 71.2 A1.1 R4 82.0 A1.2 R3 74.8 A1.1 R2 75.1 A1.1)

③LISTENING 85.6(A1.1) (R5 87.4 A1.1 R4 82.6 A1.1 R3 94.4 A1.2 R2 78.5 A1.1)

④WRITING 123.2(A1.2) (R5 116.9 A1.2 R4 133.1 A1.2 R3 122.7 A1.2 R2 134.6 A1.2)

⑤SPEAKING 78.6(A1.1) (R5 85.8 A1.1 R4 79.3 Pre-A1 R3 83.5 A1.1 R2 77.6 Pre-A1)

受検した生徒が異なるので単純に比較できない面があるが、4技能のうちREADING及びWRITINGに伸びが見られた。LISTENING及びSPEAKINGが課題と言えるが、授業中にALTのネイティブな英語に触れる機会や生徒が英語で発話する機会を意識して授業づくりに取り組んでいく。

### (4)English Day

小中学生が、8/6:30名、8/7:40名、計70名が申し込んだ(R5:69名、R4:74名、R3:61名、R2:中止、R1:26名、H30:25名、H29:15名)。参加希望者の増加に伴い、2日間での開催を企画した。ALT(5名)・AET(2名)・教員(6名)・ボランティア(1名)と、様々な英語の活動に取り組んだ。

### (5)各種支援員(会計年度任用職員)の配置

国・県の施策と連携するとともに、学校の実態に合わせて各種支援員を配置し、児童生徒の学習・生活の支援、教員の業務支援を行った。

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	a	b	b		
今後の対応	令和7年度も、継続して読解力、英語力の向上を目指した取り組みに力を入れる。特に、学力の基礎である読解力について、リーディングスキルテストを中学1・2年で実施し、また、まるぐランド(読み書きの認知特性に配慮したICT学習教材)も小学校2～4年生に導入し、小学校期からの読解力の向上を図る。(R7予算 124,631)					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育支援推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 教育相談機能の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
実施年度	R7目標値: % R6実績値: % R6達成度: %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする、学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学びの場を保障する。
事業内容	児童生徒の教育問題に関し指導助言を行い、児童生徒の健全な心身の発達に資するため、教育相談員を配置する。不登校児童生徒に対して、集団生活の適応力と精神的・社会的自立を図るため、寒陵スクールを運営し、学習支援・訪問相談を行う。不登校の未然防止等に関する研修を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	9,512	補正額等	0	合計	9,512	決算額	8,359
R6	当初予算額	18,036	補正額等	1,031	合計	19,067	決算額	17,638

## 4. 事業の実施状況

(1) 教育相談室の概要
① 相談員の配置: 教育相談員6名 中学校別室担当教育相談員3名
② 相談の件数: ○学 校 来室相談 52件(R5:83)、電話相談 153件(R5:130) (延べ) ○保護者 来室相談 57件(R5:41)、電話相談 76件(R5:134)、家庭訪問 135件(R5:159)
(2) 寒陵スクールの概要
① 在籍児童生徒(年度末): 計32名(小学生18名、中学生14名) R5:32名(小学生14名、中学生18名)
② 開設日数(勤労青少年ホーム): 209日(R5:208日)
③ その他: 長期休業中の学習、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施
(3) SOSの出し方・受け止め方研修会
① 参加対象者: 市内全教職員(悉皆研修)
② 開催期日: 5/13、7/17、10/31のうち、いずれか1回に参加する
③ 講師: 高橋 聡美 氏(一般社団法人 高橋聡美研究室 代表)
(4) 不登校予防担当者会
① 参加対象者: 各学校の教育相談コーディネーター、生徒指導担当など1名以上、市内教育相談員(別室担当教育相談員を含む)
② 開催期日: 10/3、2/12 計2回
③ 講師: 伊藤 洋子 氏(山形県公認心理師・臨床心理士協会 会長)

## 5. 事業の効果及び評価

(1) 令和6年度の不登校による年間30日以上欠席者 小学生42名(R5:36名)、中学生89名(R5:87名)
(2) 寒陵スクール在籍児童生徒進路状況 中3(2名)、2名ともに公立高校に進学した。
(3) 寒陵スクール・訪問相談では、心に寄り添った相談を通して、本人や保護者の心の安定を図ることができた。学校・保護者・相談員が丁寧に情報を共有し、連携を図ることにより、児童の学校出席につながっていくケースもみられた。

◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	A	拡充
b	a	a	a	b		
今後の対応	(1)不登校児童生徒の増加に対応するため、引き続き市内中学校に別室担当の教育相談員を3名配置する。 (2)学校や家庭で児童生徒が抱える困難について、福祉的な視点から、学校・保護者・関係機関等が連携して課題解決に向けた支援ができるよう、SSW(スクールソーシャルワーカー)を配置する。 (3)教育支援センター「寒陵スクール」の開所時間を午後3時まで延長する。また、寒陵スクールの開所時間延長に伴い、教育相談員を1名増員する。 (R7年度予算 30,361千円)					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
実施年度	R7目標値:       %   R6実績値:       %   R6達成度:       %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な児童生徒の学習参加の利便向上と保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	4,929	補正額等	0	合計	4,929	決算額	843
R6	当初予算額	4,682	補正額等	0	合計	4,682	決算額	728

## 4. 事業の実施状況

(1) 実施	登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援
(2) 利用状況	小学校: 7校、14名、延べ 648回 (R5 6校、10名、延べ 576回) 中学校: 1校、1名、延べ 88回 (R5 2校、2名、延べ 178回) 合計: 8校、15名、延べ 736回 (R5 8校、12名、延べ 754回)

## 5. 事業の効果及び評価

家庭、学校及びタクシー会社が連携し、個々に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がっている。また利用の開始時には、保護者と十分な打ち合わせを行い、児童生徒が安心して利用できる環境づくりに努めた。
---

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	条件付きで登下校往復での支援が出来るようになったが、条件をなくして登下校往復での予算を要求していく。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進 情報活用能力の育成 ICTを活用した教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
実施年度	R7目標値: 100% R6実績値: 100% R6達成度: 100%	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。また、子どもたちがICTを正しく活用できる力を養えるよう支援する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの運用</li> <li>・GIGAスクールタブレット支援員による各学校での教職員への支援事業</li> <li>・ICT機器の購入及び保守点検</li> <li>・GIGAスクールタブレットを活用し、ICT教育の充実を図った。</li> <li>・さくら連絡網(デジタル配信)。</li> </ul>

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	27,848	補正額等	0	合計	27,848	決算額	27,220
R6	当初予算額	39,427	補正額等	0	合計	39,427	決算額	30,401

## 4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校におけるICT関連機器の不具合等に迅速に対応するため、保守点検の委託業務を実施。</li> <li>・教職員のGIGAスクールタブレット活用支援のため外部委託でサポート窓口を設置し、支援員を各学校に派遣し教職員への支援事業を行った。(2名で年間76日)1校あたり年12回程度(半日)</li> <li>・校務支援システムの運用により、校務の情報化・教職員の業務効率化を図った。</li> <li>・GIGAスクールタブレットの不具合や修理・保険対応のサポート窓口を設置。</li> </ul>
---

## 5. 事業の効果及び評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクールタブレット支援員による各学校での教職員支援事業を行い、ICT教育の充実を図った。</li> <li>・GIGAスクールタブレットによる、双方向型授業及びミライシードASP版の活用を可能としたことで、授業や家庭学習で児童生徒の意見交換や共同編集、学習履歴の管理などが可能となりました。</li> <li>・さくら連絡網を活用し、各種お便り、緊急連絡、出席確認、検温等、学校と保護者間での連絡が容易になった。</li> </ul>
---

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		
今後の対応	全児童生徒へのタブレットが導入され、授業での使用はもちろん、家庭学習や、一部小学校ではオンラインによる「家庭訪問」としての使用がなされる。「学校だより」等の配布物も、さくら連絡網を活用してデータ配信しているが、さらに活用を図っていく。 令和7年度はGIGAスクール構想第2期に向けたタブレットの更新、ネットワーク改善のため、アクセスポイントの増設整備しWiFi更新工事を行う。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	ICT整備推進事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 これからの時代を見据えた「教育の情報化」の推進 情報活用能力の育成 ICTを活用した教育の推進	予算科目	10 教育費 2,3 小学校費、中学校費 3 教育振興費
実施年度	R7目標値: 100% R6実績値: 100% R6達成度: 100%	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。小中学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業等で使用する電子黒板の整備。</li> <li>・校務用(職員室等)パソコンの整備。</li> <li>・教育用パソコンの整備。</li> </ul>

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	28,308	補正額等		合計	28,308	決算額	24,534
R6	当初予算額	35,559	補正額等		合計	35,559	決算額	33,476

### (中学校費)

R5	当初予算額	17,322	補正額等	0	合計	17,322	決算額	14,995
R6	当初予算額	20,595	補正額等	0	合計	20,595	決算額	19,599

## 4. 事業の実施状況

<p>小中学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。また、情報機器の維持管理、修繕を行う。</p> <p>○小中学校パソコン機器等(リースにて整備) 校務用パソコン 教育用パソコン 電子黒板 大判プリンター</p> <p>○電子黒板購入(R6 27台)</p>
--

## 5. 事業の効果及び評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン機器等は、基本的に5年間のリース契約にて整備、更新している。</li> <li>・全児童へタブレットが配布され、さらに効果的な活用ができるよう、普通教室配置の電子黒板を増設し、R6まで全普通教室への設置完了した。</li> </ul>
---

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	A	拡充
a	b	b	b	b		
今後の対応	授業及び家庭学習において1人1台タブレットパソコンを活用していく。 令和7年度更新のプロジェクター型電子黒板を一体型電子黒板に切り替える。(R7予算 10,285千円)					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	コミュニティ・スクール推進事業			
施策体系  【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心を育み、命や生き方を大切にする教育の推進 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の確立 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進 2 健やかな体を育む取組みの推進 元気に遊ぶ子どもの育成 3 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 4 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援 【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 6 キャリア教育の推進 社会的・職業的自立に向けた教育の推進 【基本方針4】 ふるさとの誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 1 ふるさとの愛情と誇りを育む教育の推進 地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進 2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 民俗芸能や伝統行事の保護と伝承	実施年度	R7目標値: 100 %	R6実績値: 96.8 %	R6達成度: 96.8 %
	実施年度	R7目標値: 100 %	R6実績値: 94.7 %	R6達成度: 94.7 %
	実施年度	R7目標値: 100 %	R6実績値: 100 %	R6達成度: 100 %
	実施年度	R7目標値: 105 %	R6実績値: 102.8 %	R6達成度: 97.9 %
	実施年度	R7目標値: 105 %	R6実績値: 104.0 %	R6達成度: 99 %
	実施年度	R7目標値: 105 %	R6実績値: 102.6 %	R6達成度: 97.7 %
	実施年度	R7目標値: 105 %	R6実績値: 93.0 %	R6達成度: 88.6 %
	実施年度	R7目標値: 100 %	R6実績値: 95.4 %	R6達成度: 95.4 %
	実施年度	R7目標値: 100 %	R6実績値: 91.1 %	R6達成度: 91.1 %

所管課・係	学校教育課	
	指導推進室 指導係	
予算科目	款	10 教育費
	項	1 教育総務費
	目	3 教育指導援助費

※ 全国学調「いじめはいけない」小6  
 ※ 全国学調「いじめはいけない」中3  
 ※ コミュニティ・スクールの導入率  
 ※ 全国体力・運動能力調査 小5男  
 ※ 全国体力・運動能力調査 小5女  
 ※ 全国体力・運動能力調査 中2男  
 ※ 全国体力・運動能力調査 中2女  
 ※ 全国学調「朝食摂取率」小6  
 ※ 全国学調「朝食摂取率」中3

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

## 2. 事業の概要

事業目的	児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動並びにふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援する。
事業内容	学校・家庭・地域の連携協働の一層の推進を図るため、各学校にコミュニティ・スクールの導入、地域学校協働活動推進員の配置、学校の実態に合わせた補助金を交付する。 地域おこし推進員を事務局とする「さがえ未来コンソーシアム」を中心として、各学校のコミュニティ・スクール間の連携や企業・大学・芸術文化・福祉・スポーツ・観光・ボランティアなど各種団体との連携協働を推進する。

## 3. 予算額・決算額

R3: 特色ある学校づくり推進事業、さがえこ育み推進事業、さがえこライフデザインセミナー事業

(単位: 千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	21,296	補正額等	0	合計	21,296	決算額	17,406
R6	当初予算額	20,777	補正額等	350	合計	21,127	決算額	17,742

## 4. 事業の実施状況

### (1) 学校・家庭・地域連携協働

- ① 市内すべての小中学校(12校)でコミュニティ・スクールを導入。
- ② 各小中学校に地域学校協働活動推進員を12校に17名配置(R5 12校に15名)。
- ③ 地域学校協働活動推進員連絡協議会 年3回実施。
- ⑤ 各小中学校に地域学校協働本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進  
※学校支援ボランティアの年間延べ実績人数 27,939人(R5 29,507人)

### (2) さがえ未来コンソーシアム

- ① 中学生職業体験学習の受け入れ事業所のリスト化 120社(内新規事業所25社) (R5 100社 ※参考値)
- ② 企業・事業所ライブラリーのデータベース化(HP) 71社(R5 70社)
- ③ さがえ少年少女発明クラブの運営 クラブ員:44名 指導員:20名 活動:20回 協賛企業:50社

### (3) 部活動指導員の配置

- ① 部活動指導員を各中学校に1名ずつ配置し、部活動中の生徒の安全確保とともに、アドバイスによる技術の向上につながっている。



## 5. 事業の効果及び評価

(1)各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、学校における学校・家庭・地域の連携協働推進活動を計画し展開した。  
 (2)予算については、適正かつ有効な配分になるように、学校規模や児童生徒数だけでなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性等を考慮しながら配当した。  
 (3)さがえ未来コンソーシアムが中心となって、キャリア教育・創造性開発・ふるさと学習・サポーター育成の各分野において、学校と地域や企業をつなぐ学習プログラムの開発と実践を行った。

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	a	b	b	b		
今後の対応	寒河江市の未来を担う児童生徒を育成するため、令和7年度も事業を継続し、学校・家庭・地域の連携協働推進活動、さがえ未来コンソーシアム構想、部活動指導員配置事業をさらに推進していく。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	寒河江さくらんぼ大学推進事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する 1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進 生涯を通じた学習機会の充実 共に学び合う体制づくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
実施年度	R7目標値: 900人 R6実績値: 685人 R6達成度: 76.1%		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	生涯学習及び交流の場として、中央・地区公民館をつないだ誰もが自己実現のため生き活きと学び、学びを通じた触れ合いで人と人がつながり、学びの成果が地域で輝き、まちを育てるための「市民大学」を開設する。
事業内容	(1)中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとした講座を実施する。 (2)地域の理解を深めたり、時代のニーズを取り入れた講座内容を選定し、各会場をキャンパスに見立てて実施する。 (3)講座の実施に当たっては、受講生による運営委員が主となり自主的な運営を進めていく。

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	2,024	補正額等	0	合計	2,024	決算額	1,028
R6	当初予算額	1,980	補正額等	0	合計	1,980	決算額	1,387

### 4. 事業の実施状況

<p>(1)開催時期／7月6日～12月7日 全体受講者158名(定員175名)／7学部(1大学院を含む)を実施</p> <p>(2)講座内容</p> <p>①大学院「慈恩寺の歴史専攻科」＜中央キャンパス＞／18名受講(定員20名)                  ②with地球・未来・創造学部＜中央キャンパス＞／19名受講(定員25名)                  ③歴史探検学部＜中央キャンパス＞／42名受講(定員40名)                  ④アクション行学部＜東部キャンパス＞／18名受講(定員25名)                  ⑤ひらめき体験学部＜南部キャンパス＞／17名受講(定員20名)                  ⑥クラフト工芸学部＜柴橋キャンパス＞／20名受講(定員20名)                  ⑦地域発見学部＜西部キャンパス＞／24名受講(定員25名)</p>
---

### 5. 事業の成果及び評価

<p>平成26年度から開催している「寒河江さくらんぼ大学」は、令和2年度の全面中止を除き10回目の開催となった。中央キャンパスにおいては、人気の高い「歴史探検学部」をはじめ、専門的内容の「大学院(慈恩寺の歴史専攻科)」「with地球・未来・創造学部」を実施した。また、東部・南部・柴橋・西部の各キャンパスにおいては、地域の特色も取り入れた内容でいずれも好評を得た。6年度の改善点としては、コロナ禍で中止していた「選べる教室」と「キャンパスカフェ」を復活したほか、申込み方法をこれまでの窓口先着順から、インターネット申込みも取り入れ、定員を超える場合は抽選とし、若い年代や働く層でも申込みしやすいように利便を図った。</p>
---

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		
今後の対応	今後も各キャンパスの運営委員と協議して、地域の特性を活かしながらさらに魅力ある内容の講座となるよう進めていく。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進		1 保健体育総務費
実施年度	R7目標値:       %   R6実績値:       %   R6達成度:       %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

### 2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)指定管理者やスポーツ団体等と連携し、更に支援を行いながら、年間を通した体育施設の利用促進による多様なスポーツの振興を図る。 (2)ライフステージやニーズに応じた生涯スポーツの振興を図るため、各種大会・教室等を開催及び支援する。

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R5	当初予算額	9,314	補正額等		合計	9,314	決算額	8,883	
R6	当初予算額	10,054	補正額等	306	合計	10,360	決算額	9,986	

### 4. 事業の実施状況

<p>市スポーツ推進委員との連携、(一社)市スポーツ協会への事業委託等により、多彩なスポーツ教室や講座等を開催し、多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供することを目指した。また、各種大会の開催や競技力向上に係る支援等を行った。</p> <p>(1)生涯スポーツ推進事業</p> <p>①市スポーツレクリエーション祭 (376名) (R5:330名/ R4:271名/ R3: 294名)</p> <p>②市民スキー教室 (29名) (R5:雪不足のため中止/ R4:35名/ R3:35名)</p> <p>③ちびっこスポーツ教室 (18回,599名) (R5:20回.510名/ R4:19回.506名/ R3:18回,367名)</p> <p>④ジュニアスポーツ教室 (20回,749名) (R5:19回.716名/ R4: 22回.726名/ R3: 24回.474名)</p> <p>⑤成人スポーツ講座(ゴルフ教室) (20回,290名) (R5:20回.271名/ R4:18回,328名/ R3:20回,404名)</p> <p>⑥ボルダリング教室 (2回,34名) (R5:2回.49名/ R4:1回.47名)</p> <p>⑦モルック体験会 (1回,85名) (R5:2回.170名/ R4: 5回.217名)</p> <p>⑧ちびっこスポーツ体験会 (1回,80名) (R5:1回.80名)</p> <p>(2)ニュースポーツ出前事業 (9回,4種目,486名) (R5:12回.5種目.368名/ R4:10回.5種目.200名/ R3:6回,3種,195名)</p> <p>(3)スポーツ少年団育成事業 (指導者,育成母集団研修会 1回.45名) (R5:1回.36名/ R4: 1回.27名/ R3: 1回,43名)</p> <p>(4)市スポーツ協会育成事業 (表彰,激励事業、モンテディオ支援事業、スポ少活動支援事業他)</p>
---

### 5. 事業の成果及び評価

<p>(1)生涯スポーツ推進事業等については(一社)市スポーツ協会が担い、ニュースポーツ出前教室等については市スポーツ推進委員会が主に担当し、それぞれの組織の持ち味を活かした活動を実施した。受付期間の早い段階で定員数に達する教室もあり、好評を得ている。</p> <p>(2)市民がスポーツに親しむ機会を積極的に提供することにより、市民の健康増進及びスポーツ人口の拡大を推進するとともに、スポーツ大会等の開催を通じた競技力向上と指導者等の育成に取り組んだ。併せて、関連事業の継続的な実施や顕彰の取組により、市民の健康づくりや競技スポーツの活性化に繋がっている。</p>
---

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		

別記様式

今後の対応	引き続き（一社）寒河江市スポーツ協会ほか関係組織との連携を強化し、誰もが気軽にスポーツを楽しむ事業を中心に、多種多様なニーズにも対応しながら、市民の健康増進に寄与する生涯スポーツを推進する。 部活動改革に関して、市スポーツ協会や関連団体と連携・協議しながら支援等をしていく。 (R7 予算 10,604千円)
-------	--

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進		5 保健体育費
	スポーツ環境の整備と充実		1 保健体育総務費
実施年度	R7目標値:       %   R6実績値:       %   R6達成度:       %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

### 2. 事業の概要

事業目的	安全、快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	(1)市民体育館等の利用環境を適正に維持するため、施設の改修等を計画的に行う。 (2)日常点検や専門業者の定期保守点検により、施設設備に起因する事故防止及び不具合等の早期発見に繋げる。

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R5	当初予算額	920	補正額等	0	合計	920	決算額	898	
R6	当初予算額	1,130	補正額等	0	合計	1,130	決算額	950	

### 4. 事業の実施状況

体育施設整備について、次の整備・修繕等を行った。(指定管理者が行った修繕等を除く)	
① チェリーナさがえセパレート防球ネット修繕	363,000 円
② 市野球場本部席エアコン設置工事	586,300 円
R5 テニスコート防風ネット修繕	244,200 円
R5 市民プールアルミプール排水バルブ周辺配管補修	101,200 円
R5 市民プール男子トイレ和式便所修繕(洋式化)	250,800 円
R5 市民体育館視覚障がい者誘導ブロック補修	198,000 円
R4 市民プール配管漏水修繕	1,837,000 円
R4 25mアルミプール本体漏水部修繕	297,000 円
R4 体育館2階コンクリート壁クラック修繕	262,350 円

### 5. 事業の成果及び評価

(1)指定管理者と情報共有しながら施設の修繕や備品整備等を計画的に行っていることにより、安全・安心に利用されているが、市民プールの劣化が酷く、修繕困難な箇所なども見受けられる。 (2)屋内多目的運動場の管理運営について、指定管理者との連絡を密に行い優先度の高いものから整備等に対応していることで、利用者の評価に繋がっている。
---

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>c</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>		
今後の対応	施設の適正管理に努めるとともに体育施設の良好な利用環境を維持するため、計画的に整備を進めていく。特に劣化が酷い市民プールについては、早急の対応が必要。 更に、市全体の公共施設の個別施設(維持管理)計画等との整合を図りながら、中小規模整備等についても、独自に計画的かつ効果的な整備に努める。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	地域スポーツ活性化推進事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	<b>【基本方針3】</b> 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組みを推進する 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組みの推進 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進	予算科目	款 10 教育費
教育振興計画			項 5 保健体育費
実施年度	R7目標値:      %    R6実績値:      %    R6達成度:      %	目 1 保健体育総務費	

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	特色ある施設環境等を生かし、スポーツを通じた交流拡大と地域活性化を図る。
事業内容	(1)スポーツツーリズム事業として、さくらんぼマラソン大会、ツーリズム交流事業等を開催し、交流人口の拡大と地域活性化に繋げる。 (2)スポーツ競技力向上に係る支援事業として、全国大会等出場者への激励事業等を行う。 (3)市民のスポーツ実施率の向上と障がい者スポーツの振興等に繋げる。(ツーリズム含む)

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	31,945	補正額等	0	合計	31,945	決算額	31,917
R6	当初予算額	47,554	補正額等	260	合計	47,814	決算額	41,366

### 4. 事業の実施状況

各種事業を市民のスポーツ実施率の向上等に繋げ、スポーツツーリズム関連の各種大会等の開催による、交流拡大と地域活性化を図った。 全国大会等出場者への激励事業など、更なる競技力向上と指導者育成に向けた事業を継続実施した。
(1)スポーツツーリズム交流事業負担金 38,400千円 (R5:24,650千円/ R4:17,050千円/ R3:8,136千円) (ツールドさくらんぼ、さくらんぼウォーク、スケートボードスクール、他) さくらんぼマラソン大会負担金 17,500千円 (R5:10,000千円/ R4:計上なし/R3:8,125千円⇒4,125千円) ◎ 参加者(3,666名)(R5:1,786名/ R4:大会中止/ R3:オンライン大会2,070名)
(2)トライアスロン大会負担金 2,500千円⇒0円※大会誘致せず (R5:2,000千円(デュアスロン大会)/ R4:豪雨災害のため中止/ R3:復旧工事のため計上なし) ◎ 参加者(R5:105名/ R4:大会中止/ R3:大会中止)
全国大会等出場激励金 49件.1,160千円 (R5:34件850千円/ R4:33件.780千円/ R3:20件,200千円) スポーツ町づくりコーディネート事業 サガエ3×3(バスケットボール競技) (1回トーナメント参加135名) (R5:1回.トーナメント参加120名/ R4:1回.クリニック参加60名/トーナメント参加81名)

### 5. 事業の成果及び評価

(1)「さくらんぼマラソン」には、青山学院大学陸上部の原監督ほか学生選手をゲストに迎えたことで注目を集め、大会史上最多となる3,666名がエントリーするなど大きな成果を上げ、参加者からも一定の評価をいただいているが、一方で、駐車場などの課題もあった。また、さくらんぼウォークには956名がエントリーされ、寒河江の自然や歴史を肌で感じていただき高評価であった。 (2)激励金などの競技力向上に関連する取組が、全国大会等の上位大会出場者等の励みとなっており、多彩な競技種目の出場に拡大している。 (3)継続的な障がい者スポーツ振興に関連する事業を通し、障がい者や障がい者スポーツへの理解や交流を図っている。ポッチャ(パラリンピック種目)等の体験教室の出前による普及を進め、参加者の増加や理解に繋がっている。 (4)旧幸生小学校の利活用について、屋内スケートパークとしての活用方針のもと、利用者及び関係有識者等から意見をいただくワークショップを開催し、その意見を踏まえて基本設計を取りまとめた。
---

#### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>c</b>	<b>b</b>		

別記様式

今後の対応	<p>若者に人気のあるアーバンスポーツ等を推進しながら、スポーツツーリズム関連機関などと連携して、多様なスポーツへの関わり方「する・みる・支える」を通じて、市民のスポーツ実施率を向上させるだけでなく、地域経済への波及など地域活性化にも繋げていく。</p> <p>旧幸生小学校体育館の利活用については、基本設計を基に地域住民や関係部署との検討を重ね方針・方向性を決定していく。</p>
-------	---

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化・慈恩寺振興係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にすることの推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 8 市史編纂費
実施年度	R7目標値:      %    R6実績値:      %    R6達成度:      %		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	歴史資料の収集・調査を行い、市史を発刊し、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1) 郷土資料の収集・解説・研究 (2) 市史等の原稿執筆・編集・発刊

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R5	当初予算額	7,035	補正額等	0	合計	7,035	決算額	6,836	
R6	当初予算額	8,942	補正額等	301	合計	9,243	決算額	8,257	

### 4. 事業の実施状況

(1) 市史編纂委員会を開催し、市史の編集方針や発刊等について協議 (2) 市史編纂事業計画に基づき、寒河江市史編纂叢書第93集「三泉渡辺忠左衛門家資料(二)」を発刊 (3) 市史編纂事業の周知と資料収集の広報を兼ねて、毎月、市報5日号「生涯学習のまど」内に「市史編さんだより」を掲載
--

### 5. 事業の成果及び評価

(1) 市史編纂叢書の発刊により、本市の歴史を後世に伝える基礎資料の整備が進み、更に、市民の市史に対する関心を高めることができた。 (2) 歴史資料の収集や調査により、市内の歴史・文化資料の適切な保存と活用に資することができた。 (3) 「市史編さんだより」の市報掲載や歴史に関する相談に随時対応することにより、ふるさとの歴史の啓発・普及が図られた。
---

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>		
今後の対応	(1) 市史編纂委員会において策定した市史編纂事業計画に基づき、発刊作業を進める。令和7年度は、市史別編『文人墨客編』の編集を行う予定である。 (2) 市史編纂事業の実施に当たっては市史編纂専門員体制を維持し、歴史文化活動推進員等の協力を得ながら郷土の歴史資料の収集、並びに散逸・消失を防ぐと共に、調査研究を進め、市民等への市史の普及を図る。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	文化財保護庶務事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化・慈恩寺振興係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 民俗芸能や伝統行事の保護と伝承	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 9 歴史文化費
実施年度	R7目標値:        件    R6実績値:        件    R6達成度:        %		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	市内に所在する文化財の保護を図り、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1) 指定文化財の修理事業等へ補助金を交付 (2) 子どもたちへ地域の歴史文化を伝える事業を行う団体に対し、山形ふるさと塾形成事業費補助金を交付 (3) 「市文化財保存活用地域計画」の進捗状況の進行管理

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	478	補正額等	0	合計	478	決算額	190
R6	当初予算額	10,339	補正額等	0	合計	10,339	決算額	9,409

### 4. 事業の実施状況

(1) 国指定重要文化財本山慈恩寺本堂保存修理事業、県指定有形文化財平塩寺阿弥陀三尊像修理事業、市指定無形民俗文化財等保護育成事業など、合計7件8,600,000円の補助を行った。 (2) しばはし歴史かるた作成事業へ、296,000円の補助金を交付した。 (3) 文化財保存活用地域計画協議会を開催し、地域計画の進捗状況の進行管理を行った。
---

### 5. 事業の成果及び評価

(1) 本山慈恩寺本堂保存修理事業、平塩寺阿弥陀三尊像修理事業ともに3年間の修理を完了するなど、文化財の修復・維持管理に資することができた。 (2) しばはし歴史かるたが作成・活用され、子どもたちの地域の歴史文化理解に資することができた。 (3) 地域計画に定める歴史文化資源の保存・活用の取り組みの達成状況や課題などの把握と評価を実施し、今後の事業等の改善に資することができた。
--

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>		
今後の対応 (1) 本市の歴史と文化を後世に伝えていくため、市内所在の文化財を保護していく。 (2) 「市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化遺産の保存・活用を推進していく。						

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	史跡慈恩寺旧境内整備事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化・慈恩寺振興係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 9 歴史文化費
実施年度	R7目標値:                      R6実績値:                      R6達成度:                      %		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	史跡「慈恩寺旧境内」の保存整備と活用整備を行うとともに、史跡の正しい理解に導くため広く周知を図る。
事業内容	・史跡の保存整備及び活用整備 ・史跡の理解促進、情報発信及び地域活性化

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R5	当初予算額	6,857	補正額等	0	合計	6,857	決算額	6,263	
R6	当初予算額	6,639	補正額等	0	合計	6,639	決算額	6,007	

### 4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾山楯跡(山王台公園)にある老朽化したベンチを撤去 …2基</li> <li>・慈恩寺本堂周辺及び熊野神社周辺の危険木伐採を実施 …23本</li> <li>・慈恩寺本堂屋根修理工事の様子を撮影した映像を慈恩寺テラスで放映</li> <li>・史跡の情報発信・活用のため、修験の道ウォーキングを実施 …3回実施(参加者10月23日・17名、10月26日・14名、10月31日・14名)</li> <li>・史跡の理解促進及び情報発信のため、慈恩寺Timesを発行 …4回(6月、9月、11月、3月)</li> </ul>
--

### 5. 事業の成果及び評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡内の老朽化したベンチの撤去や危険木の伐採を実施したことにより、史跡来訪者及び指定区域内住民の事故防止や、慈恩寺本堂等の史跡構成要素の建築物等の危険防止に資することができた。</li> <li>・修験の道ウォーキングは、合計45名の参加があり、紅葉の中で修験行場を巡ることで史跡の理解に繋げることができた。また、参加者からも好評を得て、次年度の開催を望む声も多かった。</li> <li>・慈恩寺Timesの発行により、史跡への理解促進及び情報発信を図った。</li> </ul>
---

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	a	b	b		
今後の対応	・史跡の保存整備及び活用整備については、当初計画通りに実施し、慈恩寺テラス来場者やイベント参加者からは概ね良い評価が得られた。今後は、各種散策イベント、慈恩寺テラス企画展の充実、周知等により、史跡への一層の理解促進及び魅力発信に取り組んでいく。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化・慈恩寺振興係
施策体系	【基本方針4】 ふるさに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にす活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 9 歴史文化費
実施年度	R7目標値:       %   R6実績値:       %   R6達成度:       %		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	(1) 県指定文化財である旧西村山郡役所、旧西村山郡会議事堂の保存を図る。 (2) 郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図り、歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1) 郷土館の保存・維持管理 (2) 郡制時代をテーマとした資料館としての一般開放 (3) 郷土館特別展の開催

### 3. 予算額・決算額

							(単位:千円 千円未満切上げ)	
R5	当初予算額	3,542	補正額等	0	合計	3,542	決算額	3,301
R6	当初予算額	2,744	補正額等	900	合計	3,644	決算額	2,958

### 4. 事業の実施状況

(1) 県指定有形文化財旧西村山郡役所・旧西村山郡会議事堂の保護と郷土資料の収集・展示を行い、郷土学習の機会を提供した。 (開館期間:4月13日～11月10日の土・日曜日・祝日 入館者数:2,348名) (2) 郷土館特別展「郷土館の今後～郡役所から郷土館へ～」及び「鬼海弘雄回顧展」(SAGAEまちなか芸術祭)を開催した。 (開催期間:9月27日～11月4日 入館者数:541名※郷土館40周年フェスティバルを含まない。) (3) 郷土館40周年フェスティバル(開催期間10月6日(日)入館者数:1,000名)
--

### 5. 事業の成果及び評価

(1) 管理運営並びに維持管理等業務の委託により、きめ細やかな管理を行うことができた。 (2) 郷土館特別展や開館40周年記念事業により、多くの方に郷土館や文化財保護に対する関心を高めることができた。 (3) 市内の小・中学校の郷土学習に対応し、郷土館のPRや収集・保管資料の活用ができた。
---

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	a	a	b	b		
今後の対応 (1) 県指定有形文化財である建物を後世に残すため、修繕を実施し適正に保存していく。 (2) 特別展等の開催や展示替えを行い、郷土を学ぶ環境づくりに努める。 (3) 郷土館のさらなる活用に向け、郷土館利活用基本計画の策定を目指す。 (4) 郷土館の外壁等の補修のための設計を行う。						

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校職員衛生管理事業			所管課・係	学校教育課 教育総務係	
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する			予算科目	款	10 教育費
教育振興計画	1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり				項	1 教育総務費
実施年度	R7目標値:	%	R6実績値:	100 %	目	2 事務局費
			R6達成度:	%		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。  
※実績値: 学校職員の健康診断受診率

## 2. 事業の概要

事業目的	学校職員の安全の確保及び健康の保全を図る。
事業内容	(1) 衛生委員会の設置 (2) 学校職員の健康診断等の実施 (3) 長時間労働等に係るメンタルヘルス面接指導

## 3. 予算額・決算額

										(単位: 千円 千円未満切上げ)	
R5	当初予算額	4,355	補正額等	0	合計	4,355	決算額	3,770			
R6	当初予算額	4,636	補正額等	0	合計	4,636	決算額	3,390			

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 学校職員の健康維持を図るため、衛生委員会を設置。</p> <p>(2) 学校職員を対象にした健康診断、胃がん、大腸がん検診を実施。</p> <p>(3) 学校職員を対象にしたストレスチェックを実施。受診率 小学校 R4 85.0% R5 89.5% R6 87.4% 中学校 R4 57.4% R5 70.4% R6 84.7%</p> <p>(4) 所定の時間を超える時間外勤務を行った学校職員に対し、産業医等による面接指導を実施(R5 面接者 25名) (R6 面接者 21名)</p>
--

## 5. 事業の効果及び評価

<p>学校職員等の健康診断については、人間ドック対象職員を除いた全ての対象者が受診するように働きかけ、全ての職員が受診することができた。また、「陵南中学校衛生委員会」及びその他市内の小中学校で組織した「総括衛生委員会」において、学校職員の健康診断及びストレスチェック業務を実施状況や結果を報告し、共有した。なお、ストレスチェックの必要性を確認し、前年度より特に中学校において受診率が高くなった。</p> <p>加えて長時間勤務者の状況の報告とメンタルヘルス面接指導の対応について協議し、職場環境改善に向け努力していくことを確認できた。</p>
---

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>A</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>a</b>		
今後の対応	学校職員衛生委員会を中心に、学校職員の健康維持に努める。特に、メンタル面での健康維持について、不調者の早期発見及び産業医等への面接へつないでいく。 また、学校で働く教職員の健康を守り、より良い職場環境を整備するため、令和7年度より新たに「寒河江中部小衛生委員会」を設置する。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育振興事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 2.3 小学校費、中学校費 3 教育振興費
実施年度	R7目標値: % R6実績値: % R6達成度: %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童生徒の適切な学習環境の整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

R5	当初予算額	17,223	補正額等	0	合計	17,223	決算額	15,548
R6	当初予算額	39,824	補正額等	0	合計	39,824	決算額	38,087

### (中学校費)

R5	当初予算額	11,980	補正額等	0	合計	11,980	決算額	10,840
R6	当初予算額	11,382	補正額等	0	合計	11,382	決算額	10,217

## 4. 事業の実施状況

学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。

### (小学校)

- ① 教材教具、図書等一般事業 38,484 千円 (R5 15,493千円)
- ② 理科教育振興設備整備事業 1,340 千円 (R5 1,730千円)

教科書改訂年度に教員用指導書等を購入するため、年度間の予算に開きがある

### (中学校)

- ① 教材教具、図書等一般事業 10,797 千円 (R5 10,810千円)
- ② 理科教育振興設備整備事業 585 千円 (R5 1,170千円)

## 5. 事業の効果及び評価

- (1) 理科備品については、国庫補助金を活用し、各学校からの要望を踏まえながら、教材の整備を進めることができた。
- (2) 児童生徒1人1台タブレットPCの使用開始にあわせ、デジタル教科書を導入。(小学校:各学年1教科、中学校:各学年2教科←各学校で購入教科を選択)また、デジタル教科書の使用により、英語発音、社会理科の動画視聴、さらに、支援を必要とする児童生徒には読み上げ、ルビ、文字拡大等学びやすい学習環境が提供できている。

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	b	b	b		
今後の対応 ・教材教具整備については、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進め、継続して学習環境の充実を図っていく。 ・1人1台タブレットPCと併用し、デジタル教科書の使用を継続、拡大していく。 ・教職員の働き方改革の一環として、規模の大きい中学校(陵東、陵南中)に試験や定期テスト等の解答用紙をスキャンして画像化し、その画像をパソコン画面上に表示し採点「デジタル採点」するシステムを導入し、教職員の負担軽減を図っていく。						

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校管理事業(小中学校)	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する	予算科目	10 教育費 2,3 小学校費、中学校費 1 学校管理費
教育振興計画	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	
実施年度	R7目標値: % R6実績値: % R6達成度: %		

## 2. 事業の概要

事業目的	教育環境の充実と安全安心な学校づくり及び、施設設備の維持管理
事業内容	小中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理、備品消耗品の購入

## 3. 予算額・決算額

### (小学校費)

R5	当初予算額	145,736	補正額等	178,198	合計	323,934	決算額	309,402
R6	当初予算額	245,119	補正額等	268,677	合計	513,796	決算額	252,084

### (中学校費)

R5	当初予算額	60,913	補正額等	5,940	合計	66,853	決算額	58,425
R6	当初予算額	70,330	補正額等	0	合計	70,330	決算額	64,100

## 4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、施設管理業務委託等	① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、空調設備定期簡易点検業務、貯水槽清掃点検業務、樹木剪定業務 外 ② 印刷機・コピー機賃貸借 外
(2) 修繕	給排水管修理、消防設備修理、プールろ過機等修理 外
(3) 施設整備工事	南部・西根小学校LED更新工事、柴橋小学校ランチルーム天井改修工事、小学校特別教室空調設備工事 外
(4) 備品整備	小学校体育館等用可動式冷風機、児童用椅子 外

## 5. 事業の効果及び評価

(1) 柴橋小学校のランチルームにおいて、これまで震災などの際に天井材などが落下する危険があり避難できない場所であったが、改修工事を行い震災時でも天井材等が落ちにくい構造になったため、災害時等も安全に使用できる場所になった。
(2) 蛍光灯をLED化したことによる節電効果として、南部小、西根小の電気使用デマンド値で確認できた。 南部小 4月でのデマンド値 R6 110 → R7 88 電力使用量 R6 15,149kw/h → R7 14,373kw/h 西根小 4月でのデマンド値 R6 104 → R7 92 電力使用量 R6 14,336kw/h → R7 14,234kw/h

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	a	a	b	b		
今後の対応	「学校施設整備計画」において、新たな中学校の設置や小学校の統合が行われる計画が示されている。今後学校により施設設備の不良箇所改修は、大規模な工事等によらず機能維持のための工事や修繕で対応していくが、各学校施設の経年劣化が進んでいる状況から今後ますます維持管理費は増えていくことが予想される。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 活力ある地域をつくる地区公民館運営	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
実施年度	R7目標値: 4,200 人 R6実績値: 4,642 人 R6達成度: 111 %		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動と公民館活動を推進する。
事業内容	(1)各地区公民館と分館、地域団体が連携しながら、自主的な学習活動や研修会等の地域づくり活動を支援していく。 (2)中央公民館では、歌を通して豊かな心を育む寒河江市少年少女合唱団の育成を図る。

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	4,413	補正額等	0	合計	4,413	決算額	3,813
R6	当初予算額	4,435	補正額等	0	合計	4,435	決算額	3,895

### 4. 事業の実施状況

①分館活動／市内61分館において事業が行われた。 ②生涯学習活動推進員／17名在籍する推進員からのべ40回、自主事業や「SAGAEまちなか芸術祭」の催しの運営に協力いただいた。 ③学びのふるさと推進事業 (ア)地域塾事業(分館と地区公民館が連携し実施する複数回の学習会)…元町分館にて実施(地域学習) (イ)分館連携事業(分館と地区公民館が連携し地域力向上等を図る事業)／みずき分館(わなげ大会)、寿町分館(公園植栽及び芋煮会) (ウ)寒河江市公民館大会(2月8日開催)／講演「After/Withコロナ時代の地域づくり」 きらりよしまネットワーク事務局長 高橋由和氏 ④寒河江市少年少女合唱団／定期演奏会、県少年少女合唱祭、クリスマスコンサート(長生園訪問)、スプリングコンサート他
--

### 5. 事業の成果及び評価

各地区公民館において多くの事業が開催されるとともに、各種団体においても活発な活動が見られた。特に、少年少女合唱団においては、市制施行70周年記念式典や「郷土館フェスティバル」においても演奏出演を飾っている。また各地区においても、子ども会事業・文化祭のほか、レクリエーション大会やグラウンドゴルフ大会、ウォーキング大会などが行われた。
--

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>c</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>		
今後の対応	今後高齢化や人口減少が進むなかで、持続可能な地域活動が継続できるよう、育成・支援していく必要がある。					

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	公民館整備事業		生涯学習課	
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する		生涯学習係	
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進		款	10 教育費
			項	4 社会教育費
実施年度	R7目標値: 2分館 R6実績値: 5分館 R6達成度: 0%		目	1 社会教育総務費

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である地区公民館分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。
事業内容	分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。

### 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

R5	当初予算額	6,384	補正額等	0	合計	6,384	決算額	6,111
R6	当初予算額	12,325	補正額等	0	合計	12,325	決算額	11,694

### 4. 事業の実施状況

公民館整備事業補助金 ・中郷分館増改築(屋根塗装・外壁修理) 事業費 5,021,500円 完成年月日 令和6年12月16日 補助金額 2,510,000円 他、全16分館 補助総額 11,694,000円 ○事業内訳(延べ件数) ・エアコン設置工事 6件 ・屋根塗装等改修工事 8件 ・備品購入 2件
--

### 5. 事業の成果及び評価

16分館において整備が図られ、地域活動の活性化につながった。
--------------------------------

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>		
今後の対応		各分館に対して、分館の整備に係る意向調査を行い、事業を進めていく。 耐震診断の再調査の結果、耐震性が無い分館が2館増え5館となった。今後も耐震化の必要性を周知していくが、各分館ごとの事情もあり、なかなか進まないのが現状である。				

## 事務事業点検・評価調書

### 1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組みを推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 10 生涯学習推進費
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進 生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化	目	10 生涯学習推進費
実施年度	R7目標値:                      R6実績値:                      R6達成度:                      %		

※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。

### 2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の小学校児童を対象に教室を開催。

### 3. 予算額・決算額

								(単位:千円 千円未満切上げ)	
R5	当初予算額	1,631	補正額等	0	合計	1,631	決算額	1,262	
R6	当初予算額	1,631	補正額等	0	合計	1,631	決算額	1,315	

### 4. 事業の実施状況

<p>全小学校を対象として6教室を開催した。(東部地区公民館事業であったわくわく未来塾を本事業に移したため1教室増)                  内容: ニュースポーツ体験、図画工作活動や施設見学などを実施。                  参加人数等                  ・コーディネーター 9名(前年度比6名減) 協働活動支援員 39名(前年度比12名減)                  ・参加者総数 188名(前年度比7名減)                  (参加者内訳) 寒河江小・西根小・三泉小:42名(前年度比17名減) 寒河江中部小:72名(前年度比10名減)                  寒河江小・西根小・三泉小・中部小(未来塾)19名                  南部小:24名(前年度比10名増)、柴橋小:20名(前年度同数)、                  高松小・醍醐小・白岩小・幸生小 11名(前年度比9名減)</p>
---

### 5. 事業の成果及び評価

(1)各公民館で、工夫を凝らし事業を実施することができた。 (2)集団内の異年齢交流や、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。 (3)活動を通し、参加した児童の社会性が培われた。
--

### ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価 (自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	<b>B</b>	<b>継続</b>
<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>a</b>	<b>a</b>		
今後の対応	(1) 子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、放課後児童クラブとも連携しながら事業を行っていく。 (2) 指導員の後継者の確保に努め、教室の運営体制の充実を図っていく。 (3) 本事業を通して、子ども達の地域活動への参加が促進される流れを作っていく。					

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する  4 開かれた教育行政の推進  信頼に応える教育行政の推進 教育情報の公開と共有化の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費
実施年度	R7目標値:       %   R6実績値:       %   R6達成度:       %	※目標値は教育振興計画の数値がある場合その数値を記載。	

## 2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)								
R5	当初予算額	3,360	補正額等	0	合計	3,360	決算額	1,450
R6	当初予算額	2,903	補正額等	9,750	合計	12,653	決算額	9,865

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 2件(R5 4件) ・死亡叙位叙勲 0件(R5 1件) ・文部科学大臣表彰 1件</p> <p>(2) 教育委員会が執行した事務事業(令和6年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表。</p> <p>(3) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行。</p> <p>(4) 寒河江市総合教育会議の開催 1回</p> <p>(5) 教育委員に関する事務(毎月の定例委員会、小中学校を対象にした学校訪問等)</p> <p>(6) 「寒河江市中学校部活動改革検討委員会」の事務局として、第1回～第4回の検討委員会を実施した。また、スポーツ庁の委託事業を活用し、部活動改革を円滑に進めるために総括コーディネーターの配置した。地域クラブの持続可能な運営のための実証事業を実施した。地域クラブ指導者等研修会を2回実施した。</p> <p>(7) 寒河江市制施行70周年記念事業として市内小中学生による「私たちが住みたい30年後の寒河江の姿」について、小学生は作文発表、中学生はプレゼンテーションを行い、その後に市民代表者とのパネルディスカッションを実施した。</p> <p>(8) 新規事業として、中学生チャレンジ応援事業を立ち上げて、市内3中学校の中学生が考えた取組を支援した。 (1校当たり補助上限100万円)。 陵東中 2件 事業名:スケアード・ストレイト交通安全教室、アルミ缶回収ボランティア 実績額:996,080円 陵南中 1件 事業名:陵南中元氣プロジェクト 実績額:997,700円 陵西中 1件 事業名:陵西中学校 MILLION DRRAM PROJECT ゴルゴ松本氏講演会 実績額:1,000,000円</p>
---

## 5. 事業の効果及び評価

<p>(1) 教育委員会内及び学校教育課内の一般事務について、適時、適切な対応を行った。</p> <p>(2) 総合教育会議を開催し、市長と教育委員会との認識が共有化されるとともに、十分な意思疎通が図ることができた。</p> <p>(3) 総括コーディネーターを配置したことにより、各地域クラブの活動状況等について詳しく情報収集することができた。地域クラブへの運営委託をすることで、地域クラブの運営について課題が分かり、改善につなげることができた。</p> <p>(4) 中学生が自らの発想した事業が実現することによって、実現する喜びを体感することができた。</p>
---

## ◆事業の評価(自己評価)及び今後の対応

※別紙1の事業の評価(自己評価の基準等)による

①有効性	②-1必要性	②-2必要性	③効率性	④公平性	⑤総合評価(自己評価)	⑥事業の方向性
期待された成果は得られたか	事業ニーズに変化はあるか	市(行政)の関与は必要か	効率性を高める余地はないか	公平性を見直す余地はないか	B	継続
b	b	a	b	b		
今後の対応	「部活動改革」について、部活動改革検討委員会を組織し、年間4回計画し、協議検討を進めていく。令和7年度についても、引き続きスポーツ庁の委託事業を活用し、部活動改革を円滑に進めるために総括コーディネーターを配置する。地域クラブの持続可能な運営のための実証事業の実施、地域クラブ指導者等を対象とした指導者研修会を開催する。					